

「快適な「水」生活に向けて」 上水道給水区域を 十二所地区へ拡張

上水道給水区域を十二所地区へ拡張し、既存の簡易水道（大滝、猿間）の給水区域とを統合・整備する、十二所地区統合簡易水道等拡張工事が進められています。

十二所地区の水事情

十二所地区では、長年にわたって各戸でもしくは数軒が共同で地下水をくみ上げたり、わき水・沢水を水源としたりと、いわば自然に頼った形で水を利用してきました。



▶浦山では一部、工事に着手

大滝と猿間にはすでに簡易水道が布設されていますが、この二つの給水能力では十二所地区全域の「水」を賄えません。市では今年度から、十二所地区統合簡易水道等拡張工事に着手しました。

不便さから解放

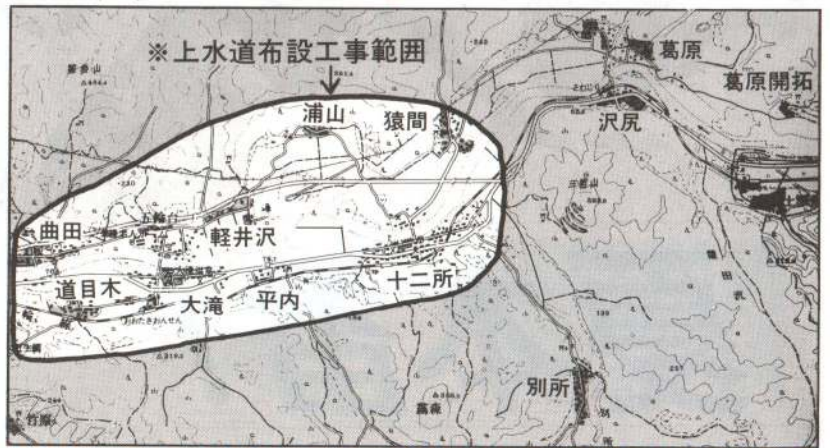
上水道布設にあたって、市が行ったアンケート調査では、水質については不安を感じたことはないという回答が六五％、洗剤や農薬、濁りなどで不安を感じるという回答は約三〇％でした。また、水量については四〇％が時々水が足りなくなる、水量が大変少なく不便な生活をしているというところで、上水道の布設については、八五％が生活用水の心配がなくなり大変良いことだ、早急に整備した方が良いと答えています。

施設建設にも 大きな期待

十二所地区に公共施設などを建設するという話があるたびに、水の不便さが課題となってきました。大きな施設になればなるほど水量の確保が重要になるからです。きれいで豊富な水が、安定して供給されることは、消火栓をはじめとした防災施設の充実、公衆衛生の向上、生活環境の改善にも結びつきます。今後、老人ホームの改築や労災病院の全面改築が見込まれていることから、上水道の早期布設に大きな期待が寄せられています。

六十五年度完成予定

工事は今年度から六十五年度までの三年間にわたり、十二億円余りを投じて進められます。すでに浦山、曲田、十二所の一部では、市道の改良工事も



併わせて実施されていますが、本格的な工事は今月から始められ、水は山館浄水場から自然流下方式で軽井沢福祉園前の配水池に送られた後、各戸へ給水されることとなります。

今回の上水道布設では、葛原、沢尻、別所の三地区が工事範囲に入っていません(図参照)が、六十五年度完成以降に順次着手する予定となっています。

地域の皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。

市長の 対話ノート

思い深き八月



No.179

暑中お見舞い申し上げます。暑い暑い日が今年は何日あるでしょうか。八月は深い思いが多い月です。

お盆を迎えて先祖に思いを馳せる月であり、六日、九日は広島、長崎の「原爆の日」、十五日は終戦の日です。

今日の私たちの生活は、先祖、先輩諸氏の努力、そして戦争における大きな犠牲のうえにあるものであり、この歴史を忘れてはなりません。教訓を生かし、先祖、先輩の労に報いるためには、平和を永久に守り、力を合わせて活力あふれる郷土をつくっていくかなければならないでしょう。

八月十五日から三日間にわたって「大文字まつり」が開催されます。鳳凰山の大火文字に火が入れられ、大文字おどり・ぶっかけみこしなども行われますが、市民あげて参加し、ともに汗を流し、郷土の発展に向けてぜひとも成功させましょう。

浦山 健治